


SAN-EI

ユーミックス モデロ

U-MIX *Modelo* シングルレバーシリーズ

シングルワンホール分岐混合栓（水分岐）

…………… K8762JWV・K8762LJWV

（寒冷地用…K8762JWK・K8762LJWK）

シングルワンホール分岐混合栓（湯分岐）

…………… K8762TJWV-R・K8762TLJWV-R

（寒冷地用…K8762TJWK-R・K8762TLJWK-R）

施工・取扱説明書

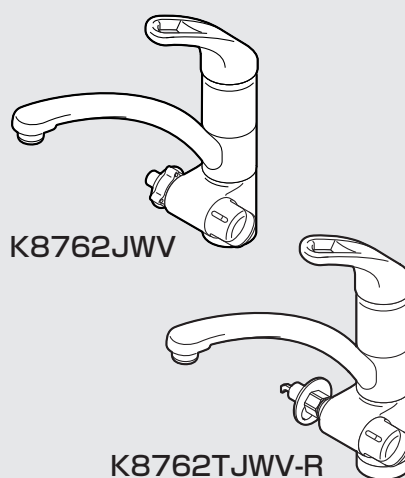
施工、ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しく施工、ご使用ください。

お客様へ

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。

工事店様へ

施工後、この説明書と保証書をお客様へお渡しください。手渡しできない場合は器具に掛けておいてください。

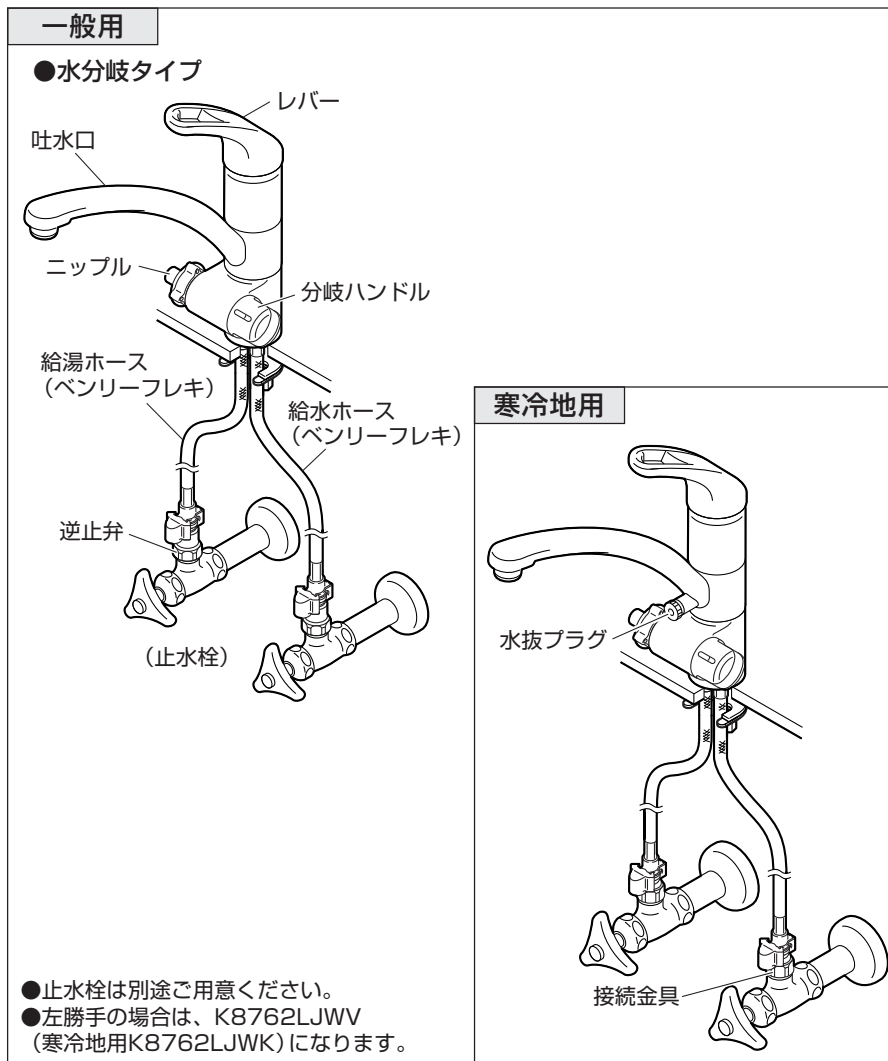


もくじ	各部の名称……………1～2	器具の取付け…8～13	お手入れ……………21
	— 施工について —……………	— ご使用について —……………	吐水口の掃除……………22
	施工に関する安全上のご注意…3～4	ご使用に関する安全上のご注意…14～17	故障？その前に……………23
	適切な使用条件……………5	使用方法……………18～19	分解図……………24～25
	梱包明細……………6～7	寒冷地用の水抜方法…20	オプション品について…26

シングルレバー混合栓について

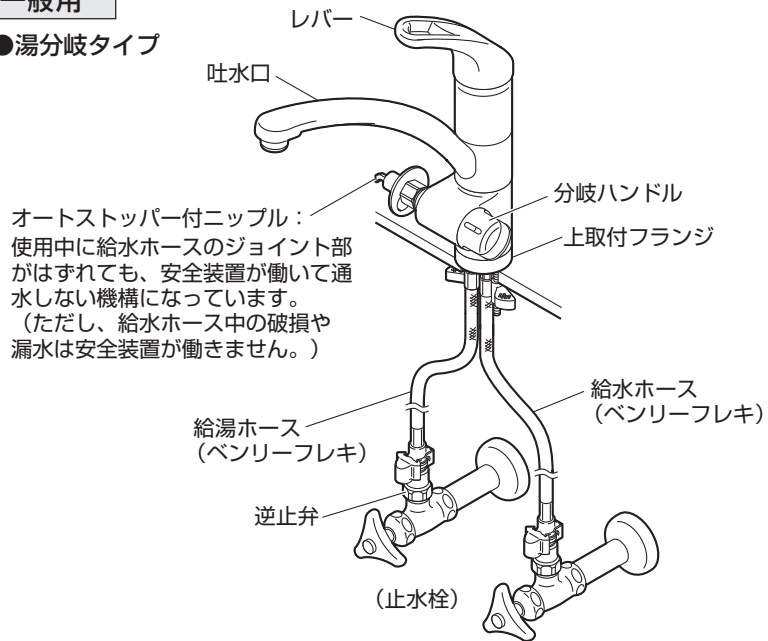
- 本器具は、レバーで吐水・止水・温度調節ができる操作しやすい混合栓です。
- 吐水・止水が簡単に行えますので、節水にも役立ちます。

各部の名称

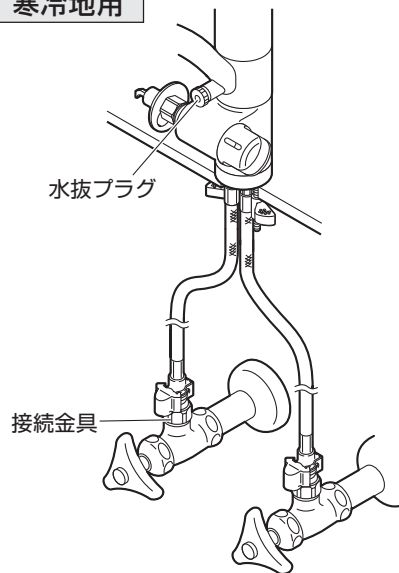


一般用

●湯分岐タイプ



寒冷地用






- 止水栓は別途ご用意ください。
- 左勝手の場合は、K8762TLJWV-R
(寒冷地用K8762TLJWK-R)になります。

施工について

施工に関する安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、試験運転を行い異常がない事を確認すると共に、工事店様は説明書に沿ってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。

用語および記号の説明

- 注意** …………… 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」
-  …………… 「注意しなさい！」（上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。）
-  …………… 「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）
-  …………… 「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）


注意



湯水を逆に配管しないでください。
水を出そうとしても、湯が出てやけどをする事があります。



（寒冷地用の場合）
凍結が予想される際は、水を抜いておいてください。
凍結破損で漏水し、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
凍結が予想される地域は寒冷地用の器具を選定してください。
（参照：寒冷地用の水抜方法）

 **注意**

(湯分岐タイプの場合)

食器洗い機などに接続する場合は、接続機器の最高使用温度を確かめてから接続してください。

最高使用温度より高い温度で使用しますと、接続機器が破損するおそれがあります。

(一般的に食器洗い機への給湯温度は60℃です。
温度設定できない給湯設備の場合は水分岐タイプをご購入ください。)



(湯分岐タイプの場合)

浄水器、整水器などをご使用になる場合は、水分岐タイプをご購入ください。
機器が故障するおそれがあります。

適切な使用条件

(1) 貯湯式給湯器・中央給湯式の場合に必要な給水・給湯圧力

条 件	
●給水・給湯圧力	0.05MPa {0.5kgf/cm ² } ~ 0.74MPa {7.5 kgf/cm ² }
●給水圧力と給湯圧力の差が少ないほど、温度調節がしやすくなります。	

(2) ガス瞬間式給湯器の場合の給湯器流入口における最低必要圧力

設定条件

- 水温：25℃
- ガス瞬間式給湯器の調節ハンドル：高温
- 吐水温度：42℃
- レバーは全開

(P = 給湯器の最低作動水圧 MPa {kgf/cm²})

ガ ス 瞬 間 式 給 湯 器			
従 来 タ イ プ			比 例 制 御 タ イ プ
8 号	10 号	12 号	16 号
P+0.07 {0.7}	P+0.09 {0.9}	P+0.12 {1.2}	P+0.098 {1.0}

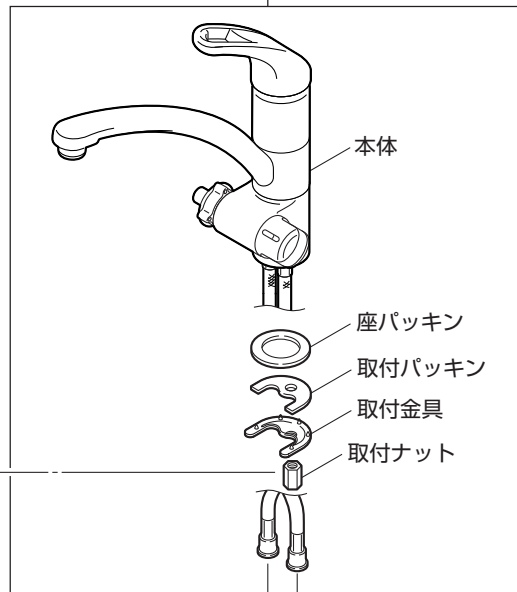
- 給水圧力は流動時の水圧を示します。
- 給湯能力8・10号では、冬季での快適流量が得る事ができませんので、ご注意ください。
- 飲用不可な井戸水は使用しないでください。
- 給湯には蒸気を使用しないでください。
- ガス瞬間式給湯器からの配管は最短距離で施工し、保温材を巻いてください。
- 取付後の保守点検のために必ず止水栓（別売）と点検口を設けてください。

梱包明細

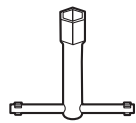
水分岐タイプの場合

- 本書（施工・取扱説明書）× 1
- 保証書× 1

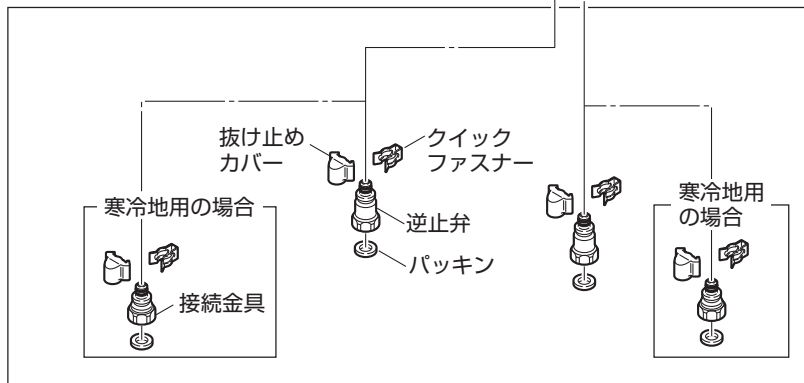
本体× 1



カラー箱仕様の場合



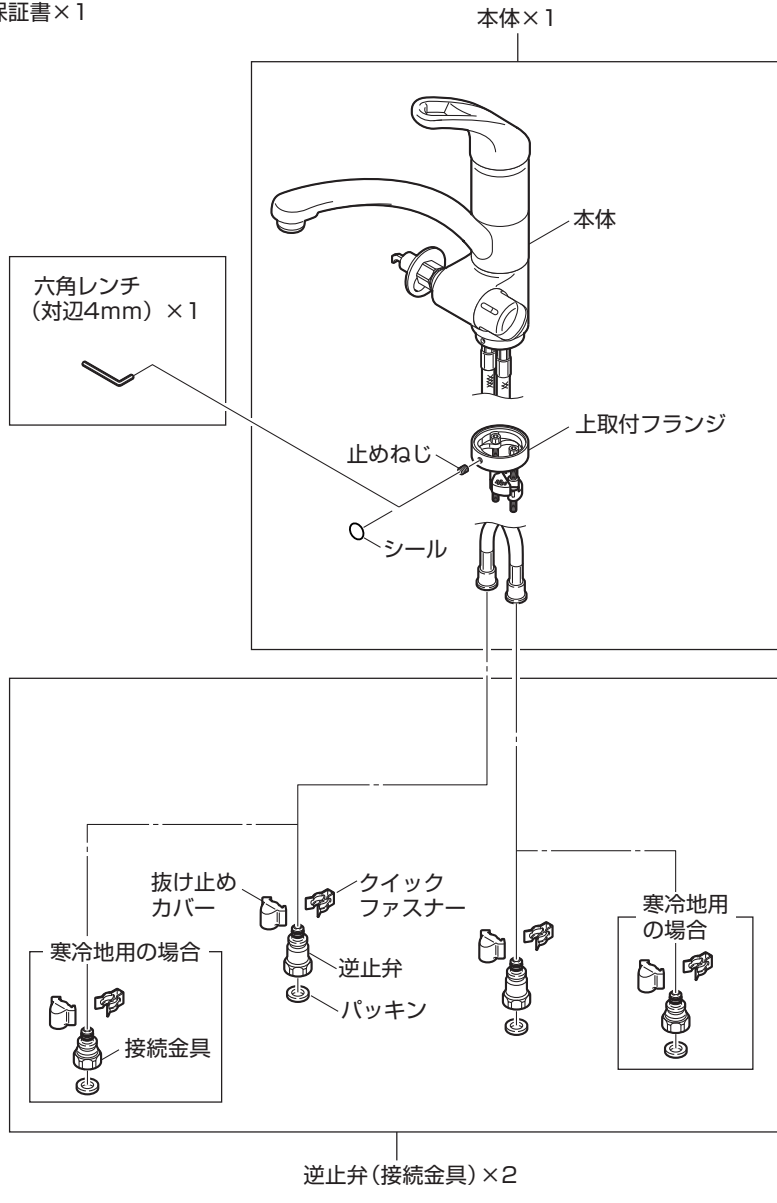
ナット締付工具



逆止弁 (接続金具) × 2

湯分岐タイプの場合

- 本書（施工・取扱説明書）×1
- 保証書×1

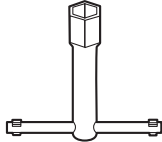


器具の取付け

主な工具類

- ナット締付工具：
混合栓取付足のロックナットをまわす時に必要です。

水分岐タイプの場合
(カラー箱仕様の場合、
同梱されています。)



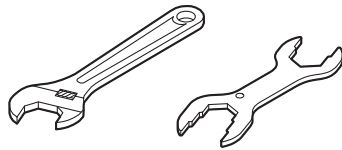
ナット締付工具
SAN-EI品番：
R356 (ナット締付工具)

湯分岐タイプの場合
(同梱品)

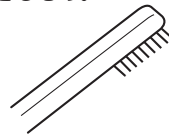


六角レンチ
(対辺4mm)

- スパナ (モンキーレンチ) など：
混合栓のナットがまわせる工具。



- 使い古しのハブラシなど：
取付穴周囲などの掃除が
できるもの。



- 手袋：
ケガ防止のために
着用してください。



- タオルなど：
ケガ防止や混合栓保護
のために使用します。

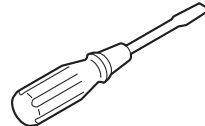


- ぞうきんなど：
配管中の残り水を
拭くのに使用します。



止水栓がドライバー式の
場合に必要工具 (P9参照)

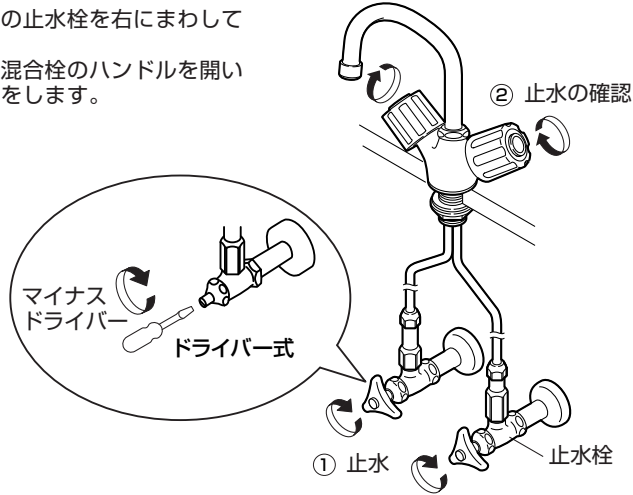
- マイナスドライバー



A 古い混合栓の取りはずし

※新設の場合は **B** に進んでください。

- 1** 湯・水の止水栓を閉めます。
 カウンター下の止水栓を右にまわして
 止水します。
 止水した後、混合栓のハンドルを開いて
 止水の確認をします。



- 2** ナットを順番にゆるめて、古い混合栓をはずします。

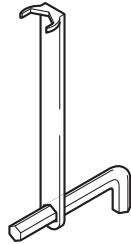
アドバイス

残り水を受けるためぞうきんを用意してください。

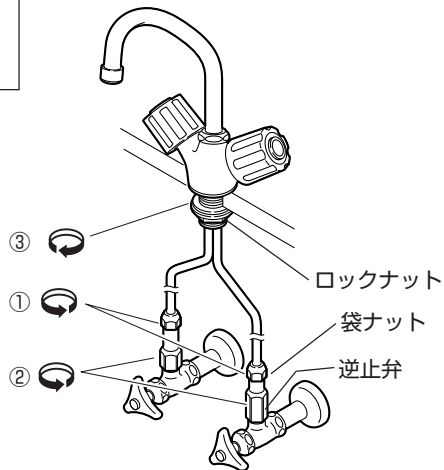
注意

- ねじで手を切る場合があります。
 ご注意ください。
- 湯側の残り湯にご注意ください。

使用する工具の例



古い混合栓を取りはずす際は
 ロックナット対辺を確認して
 ください。



B 新しい混合栓の取付け

- 3** 取付穴周囲のゴミを取り、新しい混合栓を取付けます。



注意

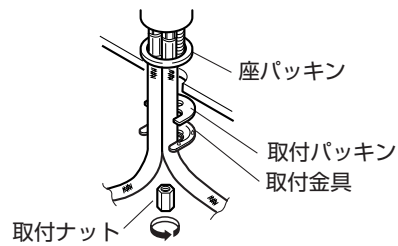
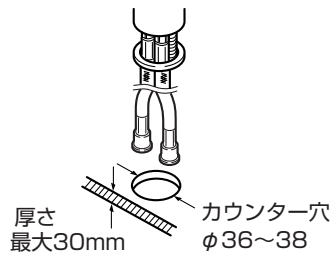
配管内にゴミなどが混入すると漏水や水栓の故障の原因となります。特に新設の場合は、ゴミなどが混入しているため、通水して配管内のゴミを洗い流してください。

水分岐タイプ(取付部ボルト式)の場合

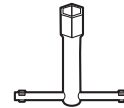
4 本体の取付け

- (1) カウンター穴の寸法の確認を行ってください。 (2) 本体が正面を向くように締付工具で固定してください。

(注) ホースを必要以上の力で曲げて折らないよう、注意してください。



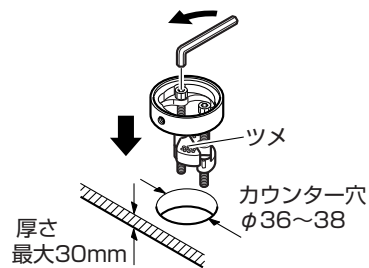
ナット締付工具
SAN-EI品番：R356
(ナット締付工具)



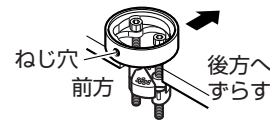
湯分岐タイプ(取付部上面施工式)の場合

4-1 上取付フランジの取付け

- (1) 上取付フランジのボルトをまわして、ツメを閉じた状態にして、カウンター穴に入れてください。

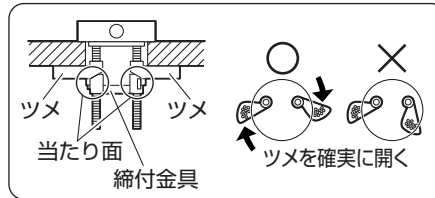


- (2) ねじ穴が前方にくるように位置決めして、後方に止まるまで押し当ててください。



- (3) 上取付フランジを手で押しささえながら、六角レンチをたてにしてボルトを左右均等に締めてください。

(注) 左右のツメが確実に開くように締付金具の当たり面に、当ててください。ツメが開いていない場合は指でツメを開いてください。



- (4) 六角レンチを横にしてボルトを一回転増締めして上取付フランジを確実に固定してください。



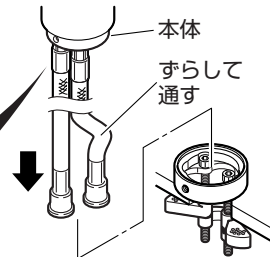
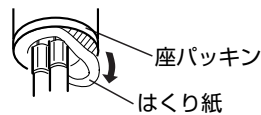
4-2 本体の取付け

- (1) 本体の給水・給湯ホース先端をずらし、上取付フランジに通してください。

(注) ●先端をずらさないと、うまく上取付フランジに通りません。

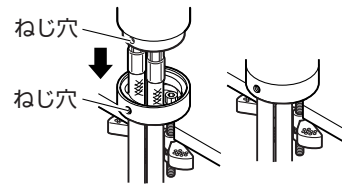
●ホースを必要以上の力で曲げて折らないよう注意してください。

(注) 座パッキン裏面のはくり紙をはがし、本体をカウンターに押しつけて固定してください。

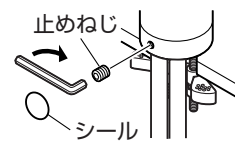


- (2) 本体と上取付フランジのねじ穴が合うようにはめ込んでください。

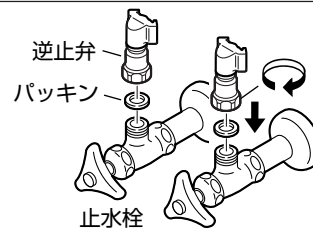
(注) 本体に浮きがないよう注意してください。



- (3) 止めねじで本体を確実に固定し、シールでねじ穴をふさいでください。



- 5** 逆止弁(寒冷地用は接続金具)を取付けます。カウンター表面から給水・給湯ホース先端までの長さの確保を行ってから逆止弁(寒冷地用は接続金具)を止水栓などに固定してください。

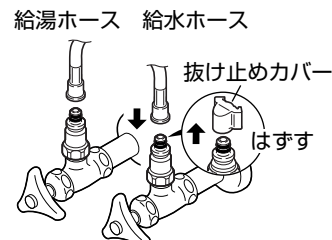


- 6** 逆止弁と給水・給湯ホースを接続します。

- (1) 逆止弁の抜け止めカバーをはずし、給水・給湯ホースを逆止弁に差し込んでください。

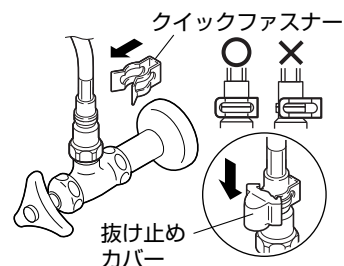
(注) ●逆止弁のオーリングの傷、ゴミかみに注意してください。

- 抜け止めカバーは、クイックファスナー接続の際に必要なので、なくさないようにしてください。



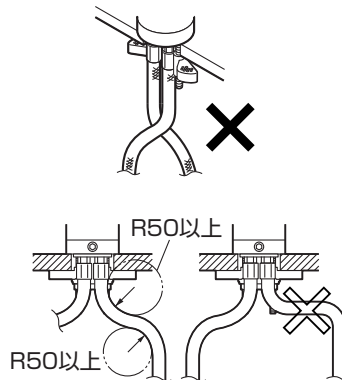
- (2) クイックファスナーを給水・給湯ホースと逆止弁の接続部(ツバ部)にカチッと音がするまで、確実にはめ込んでください。次に抜け止めカバーをクイックファスナーに確実にはめ込んでください。

(注) ●クイックファスナーは、ケガのないよう取扱いには注意してください。抜け止めカバーをはめたままにしてください。
●クイックファスナーは、広げないでください。

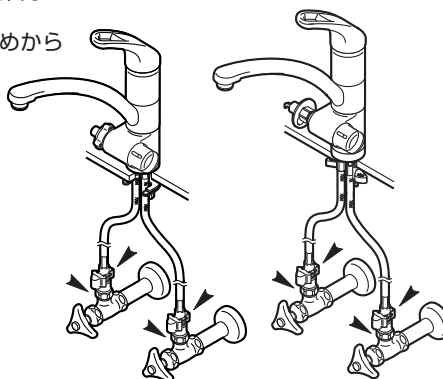


(注) 給水・給湯ホース施工上の注意点

- ホースがねじれないように配管してください。
ホースがねじれて配管されると加圧した際、ホースの接続部のゆるみの原因となります。
- ホース同士の不要な接触は避けてください。
外部補強層の磨耗による外傷でホース性能の劣化の可能性がありますので避けてください。
- ホースを曲げる場合は、曲げ半径 50mm 以上確保してください。
無理に曲げるとホースが破損し、漏水の原因になります。
- ホース両端部を極端に屈曲して、施工しないでください。

**7 止水栓を開いて、水もれをチェックします。**

接続後、各部に水もれがないか必ず確認してください。
水もれがある場合は、もう一度はじめからやり直してください。

**⚠ 注意**






- 取付後の通水は、必ず分岐部に給水ホースを接続した後、行ってください。
※分岐側の接続については【使用方法－分岐側の接続について】をお読みください。
(湯分岐タイプの場合)
- 食器洗い機などに接続する場合は、接続機器の最高使用温度を確かめてから接続してください。
最高使用温度より高い温度で使用しますと、接続機器が破損するおそれがあります。
(一般的に食器洗い機への給湯温度は60℃です。
温度設定できない給湯設備の場合は水分岐タイプをご購入ください。)
- 浄水器、整水器などをご使用になる場合は、水分岐タイプをご購入ください。
機器が故障するおそれがあります。

ご使用について


ご使用に関する安全上のご注意

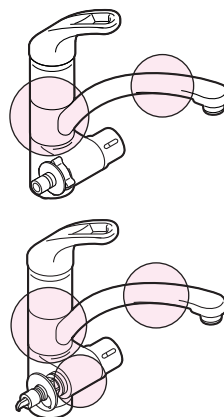
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

- 注意** …………… 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」
-  …………… 「注意しなさい！」（上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。）
-  …………… 「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）
-  …………… 「分解してはいけません！」
-  …………… 「指示した場所に触れてはいけません！」
-  …………… 「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

注意

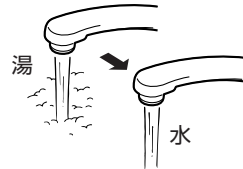
-  ●器具の左側は給湯側のため高温になっています。金具の表面に直接肌を触れないようにしてください。
やけどをするおそれがあります。
- 高温の湯をお使いの時には、吐水口は高温になっています。直接肌を触れないでください。
やけどをするおそれがあります。
- （湯分岐タイプの場合）
- 分岐部は給湯側のため高温になっています。金具の表面に直接肌を触れないようにしてください。
やけどをするおそれがあります。



⚠ 注意



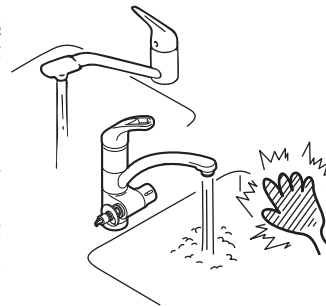
高温の湯をお使いの後は、器具内に高温の湯が残らないように、しばらく水を流してください。
次に使用すると、器具内に滞留した高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。



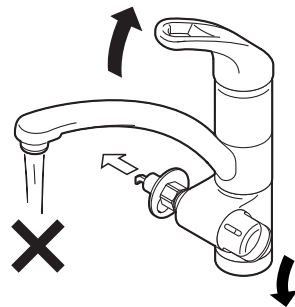
レバーの表示で湯温を確かめた後、吐水してください。
高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。




他所の水栓の使用などにより水圧変動が起こり、湯の使用中に湯温が急上昇する事があります。
やけどのおそれがありますので、やけどのおそれのないところまで水圧変動を押さえた配管設備にするか、サーモスタット混合栓を使用してください。なお、シングルレバー混合栓に比べサーモスタット混合栓の方が水圧変動による吐水温度の変化はわずかな値となります。

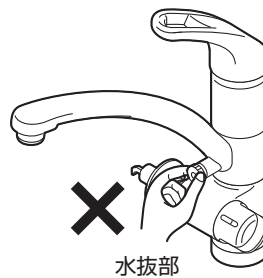



吐水側と分岐側を同時に吐水しないでください。
十分な流量が得られなかったり温度が変わり、やけどをするおそれがあります。

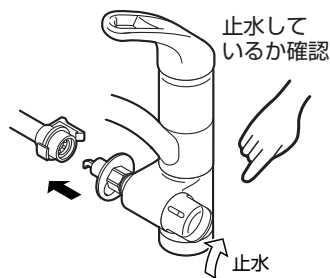



⚠ 注意

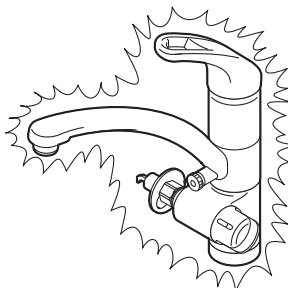

(寒冷地用の場合)
 水抜部は水抜き以外の目的で開けないでください。
 水抜部をいきなり開けますと、高温の湯が出てやけどしたり、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
 (参照:寒冷地用の水抜方法)





 ホースをはずす際は、ハンドルを止水位置に合わせてからはずしてください。
 水が吹出して家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。




(寒冷地用の場合)
 凍結が予想される際は、配管の水抜操作と水栓金具の水抜操作を行ってください。
 凍結破損で漏水し、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
 (参照:寒冷地用の水抜方法)



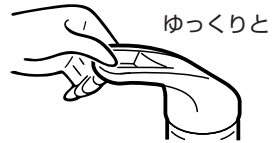

(湯分岐タイプ(オートストッパー付ニップル)の場合)
 通水状態や本体内部に圧力がかかっている場合、給水ホースを取付ける事ができません。
 給水ホースを取付ける事ができない場合は、ハンドルを閉めてからニップルの安全装置を左右に動かして、本体内部の圧力を逃がしてください。



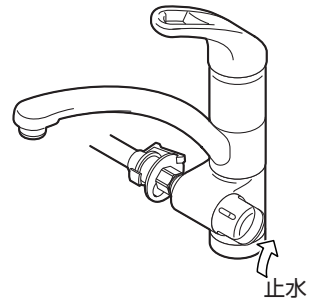
⚠ 注意



レバー操作の急閉止は、配管からの漏水を
起こす事がありますので、ゆっくり操作し
てください。
漏水で家財などをぬらす財産損害発生のお
それがあります。



接続機器などを使用しない時は、ハンドル
を閉めてください。
給水ホースがはずれて漏水し、家財などを
ぬらす財産損害発生のおそれがあります。

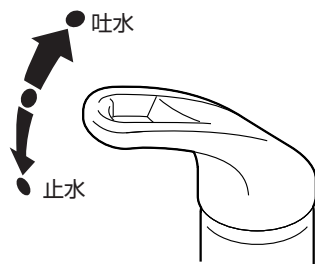


漏水した場合の処置：漏水した場合は元栓、または止水栓を閉めてください。
ポンプをお使いの場合は、ポンプを止めてください。
そして専門の業者に修理を依頼してください。

使用方法

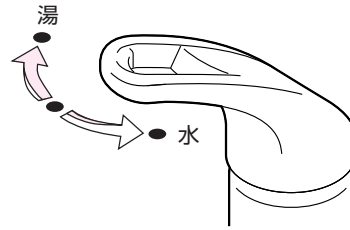
吐水側の吐水・止水

レバーを上げると吐水し、下げると止水します。吐水量は上げるほど多くなります。



吐水側の温度調節

レバーを右にまわすと水、左にまわすほど温度が高くなります。

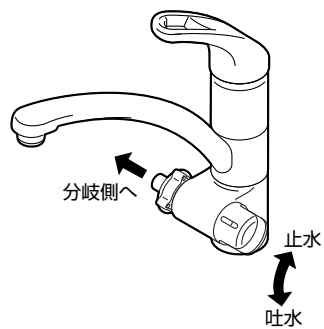


(注) ガス瞬間式給湯器の場合
レバーは全開でご使用ください。給湯器が着火しない場合があります。

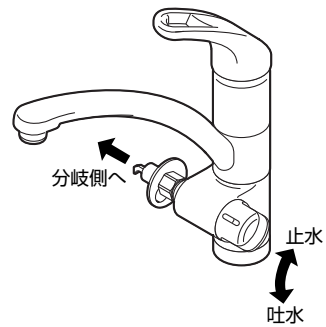
分岐側の吐水・止水

分岐ハンドルを下にまわすと吐水、上にまわすと止水します。

●水分岐タイプ



●湯分岐タイプ

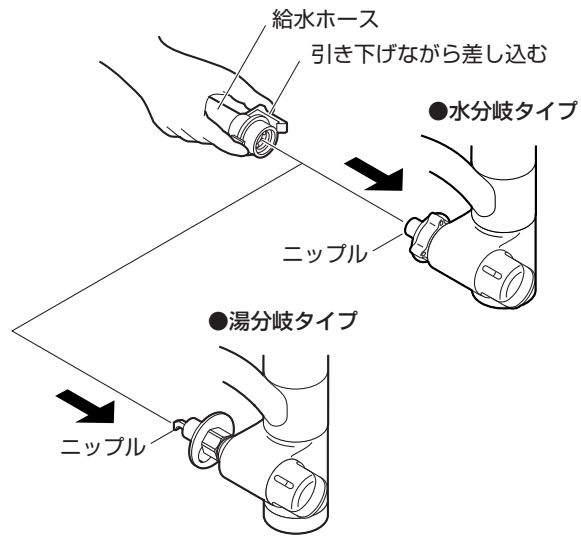


(注) 吐水側と分岐側を同時に吐水しないでください。

分岐側の接続について

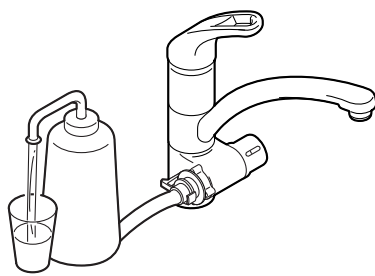
送水する分岐口を設けていますので、浄水器や食器洗い機などの接続に便利です。

●本器具のニップルに給水ホースを接続します。

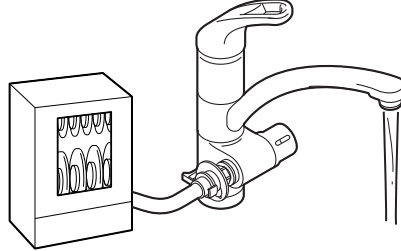


〔使用例〕

●水分岐タイプ
浄水器などへ



●湯分岐タイプ
食器洗い器などへ

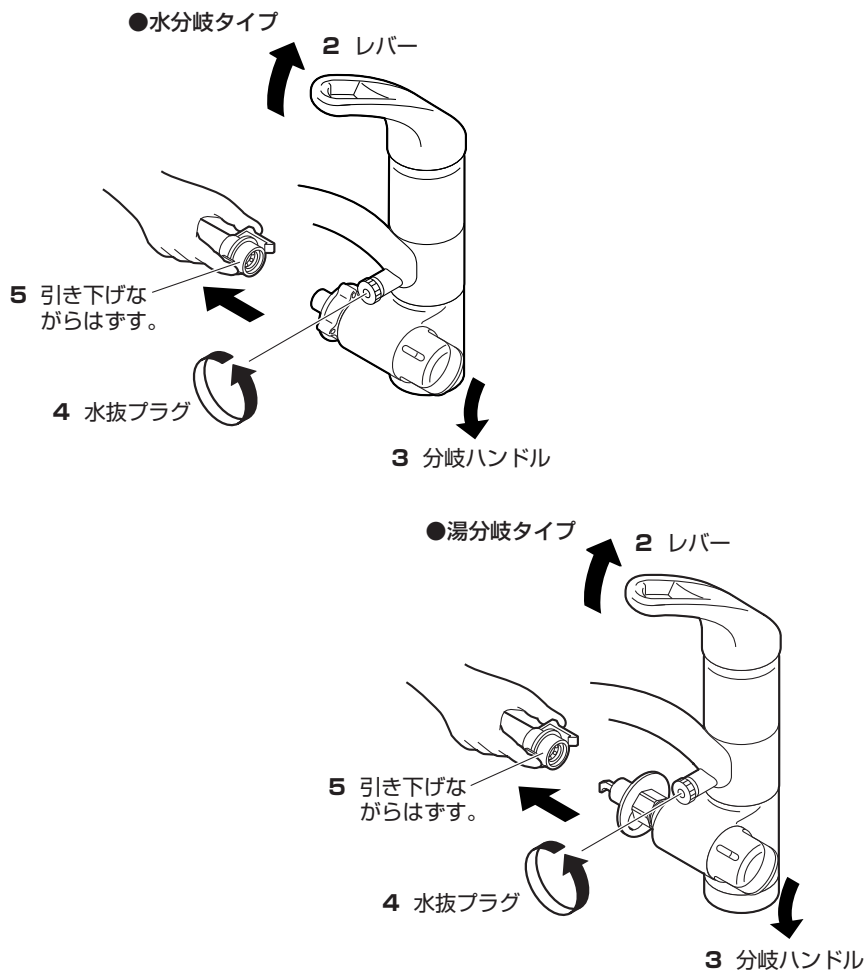


接続機器取付後は、分岐部の接続部から水漏れのないことを確認してください。
漏水で家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

寒冷地用の水抜き方法

凍結のおそれがある場合には、下記の方法で水抜きをしてください。

- 1 配管の水抜き栓を操作する。
- 2 レバーを中央位置で上げる。
- 3 分岐ハンドルを開く。
- 4 水抜きプラグをゆるめ、水を抜く。
- 5 給水ホースをはずし、給水ホースを振って水を抜き、シンクなどに置く。



再使用时 水抜きプラグが確実に閉まっているか確認してから、通水してください。

お手入れ

●メッキ部分（金属製部品）

やわらかい布で拭き、時にはミシン油
やカーワックスを適量にしみこませた
布で拭いてください。

●樹脂部分（プラスチック製部品）

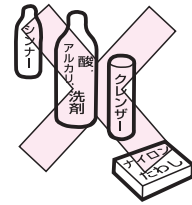
やわらかい布で水拭きをしてください。

⚠ 注意



次のものは使用しないでください。変色や傷みの
おそれがあります。

- 酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類
※特に酸性洗剤はメッキを侵します。
- ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコール
などの溶剤や油類
- クレンザーなどの粒子の粗い洗剤
- ナイロンたわしなど

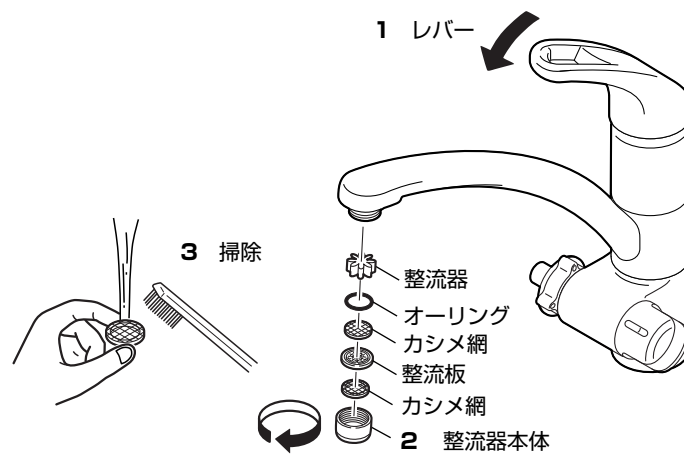


吐水口の掃除

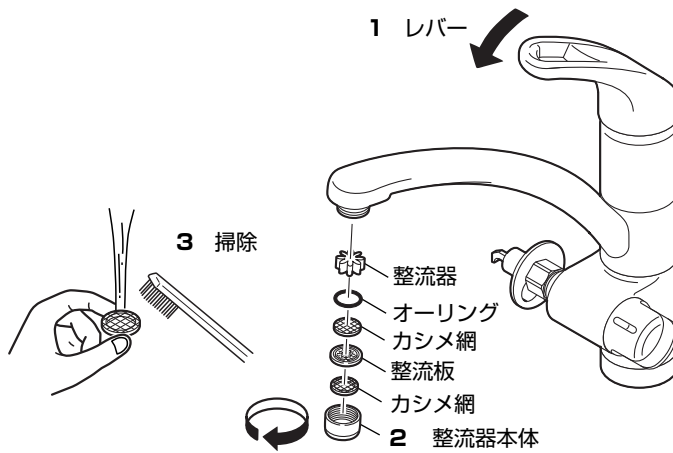
近所で水道工事があつたり、長期間使用し湯水の出が悪くなった時にお調べください。

- 1 レバーを下げ、止水する。
- 2 整流器本体をはずす。
- 3 ブラシなどで網部分を掃除する。

●水分岐タイプ



●湯分岐タイプ



再使用时 整流器本体が確実に閉まっているか確認してから、通水してください。

故障？ その前に

修理を依頼される前に、下の表に従って点検してください。

現象	点検
吐水量が少ない。	① ②
高温しか出ない。	①
低温しか出ない。	① ② ③
温度調節がうまくできない。	① ② ③
各接合部及びレバー上部から水がもれる。	④
水が止まらない。	⑤

- ① 止水栓は開いているか。
- ② ゴミづまりは。……………参照：吐水口の掃除
- ③ 混合栓に湯がきているか。
- ④ 老朽化や使用環境により部品の劣化やゴミかみのおそれがあります。
各接合部からの水もれの場合は水もれ箇所の部品を交換してください。
レバー上部からの水もれの場合はカートリッジを交換してください。……参照：分解図
- ⑤ 老朽化や使用環境により部品の劣化やゴミかみのおそれがあります。
カートリッジを交換してください。……………参照：分解図

以上の点検を実施されても、不具合がなくなる場合はお手数ですが販売店（工事店）にご依頼ください。

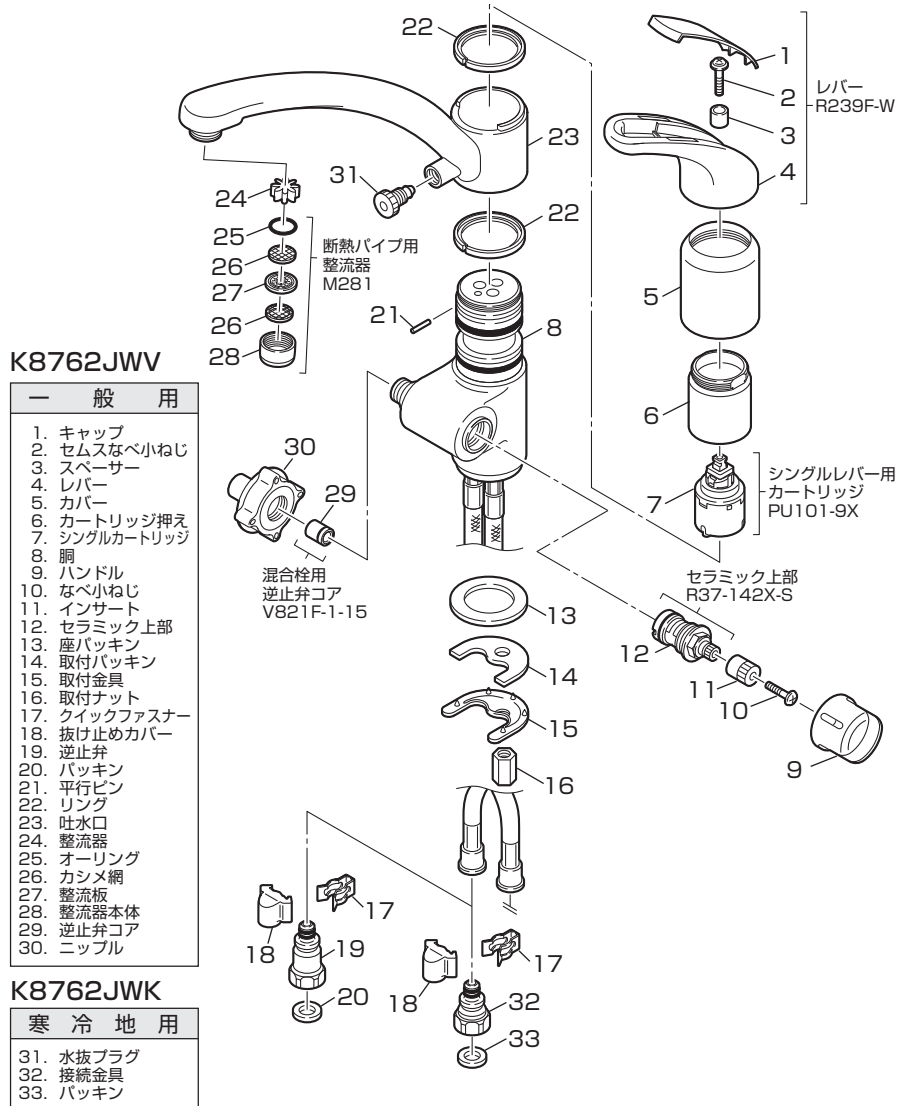
⚠ 注意



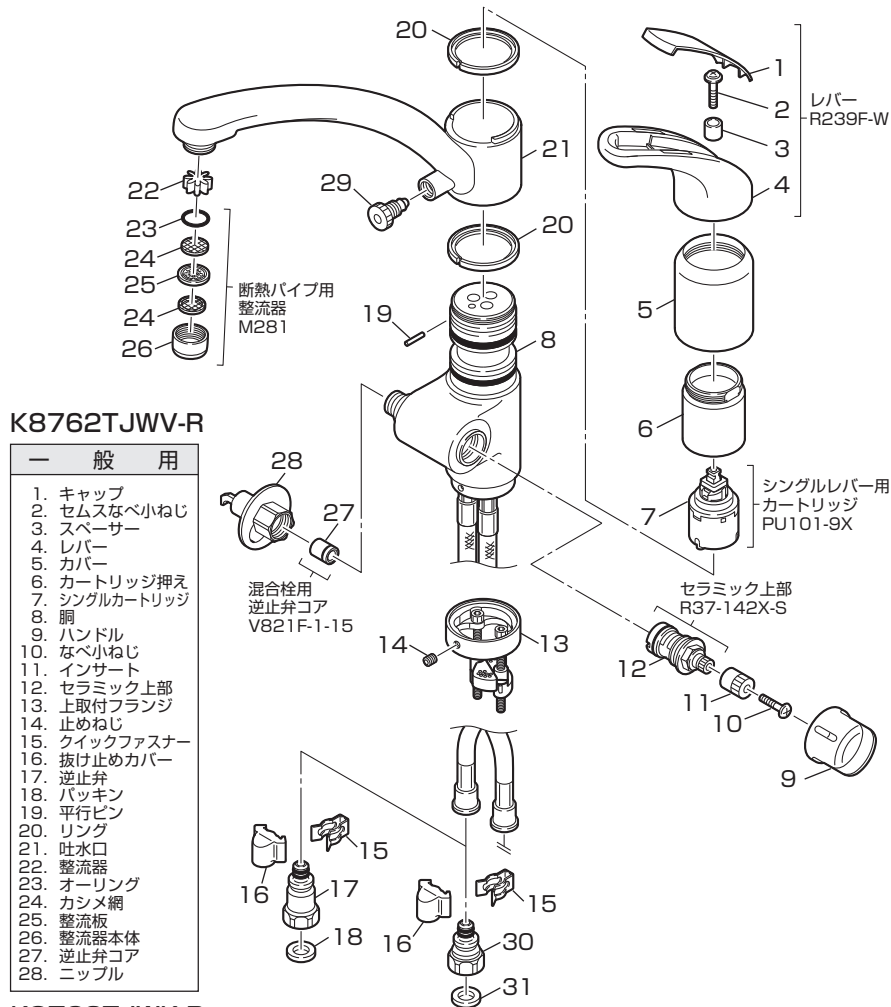
カートリッジ内部は精密加工されていますので、絶対に分解しないでください。

分解図

器具の構造を表したイラストです。構造をご理解いただくのにご使用ください。



●左勝手の場合はK8762LJWV、
(寒冷地用K8762LJWK)になります。



K8762TJWV-R

一 般 用	
1.	キャップ
2.	セムスなべ小ねじ
3.	スペーサー
4.	レバー
5.	カバー
6.	カートリッジ押え
7.	シングルカートリッジ
8.	胴
9.	ハンドル
10.	なべ小ねじ
11.	インサート
12.	セラミック上部
13.	上取付フランジ
14.	止めねじ
15.	クイックファスナー
16.	抜け止めカバー
17.	逆止弁
18.	パッキン
19.	平行ピン
20.	リング
21.	吐水口
22.	整流器
23.	オーリング
24.	カシメ網
25.	整流板
26.	整流器本体
27.	逆止弁コア
28.	ニップル

K8762TJWK-R

寒 冷 地 用	
29.	水抜プラグ
30.	接続金具
31.	パッキン

●左勝手の場合はK8762TLJWV-R、
(寒冷地用K8762TLJWK-R)になります。

オプション品について

SAN-EIでは、水まわりを快適にサポートできるようにオプション品や補修パーツをホームセンターなどでとりそろえております。

(品質改良、原材料事情などにより、品番、仕様などの変更、および製造中止を予告なくさせていただく場合があります。あらかじめご了承ください。)

